

「神戸市立博物館から旧居留地を歩こう会」の ご案内

神戸市内在住の留学生の皆さま

1868年(慶応3年)に神戸港の開港と同時に設けられたのが、外国人に対して居住・営業が自由に許可された地域、居留地(きょりゅうち)です。居留地は横浜・長崎・神戸・大阪・東京などにありましたが、明治32年(1899)、条約改正により廃止・返還されました。そして、居留地は旧居留地と呼ばれるようになりました。

旧居留地界隈には神戸の歴史を感じることでできる場所がたくさんあります。たくさんの史跡や地碑があちらこちらに点在しています。レトロビルディングを探して歩くと出会うことができます。皆さまに、異国情緒ある街並みにふれていただく「旧居留地を歩こう会」を開催することとなりました。皆様の参加を歓迎いたします。



- 開催日時：2018年10月20日(土) 10時～12時
- 開催場所：神戸市立博物館 及び 旧居留地
- 対象者：神戸市内在住の留学生
- 定員：先着10名様まで
- 締切：10月19日(金)但し、定員にない次第締め切
- 参加費：無料 Free

- プログラム：10時 【神戸市立博物館】正面玄関前 集合
- 10時 旧居留地を歩こう会 開始
- 12時 解説は日本語で行います(英語ガイドあり)
- 12時 歩こう会終了後解散 ※神戸市立博物館は、リニューアル休館中につき、見学はしません



申し込み：氏名(ふりがな)、性別、出身国、学校名、学部、学年、電話番号、E-mailを添えて下記まで申し込みください。

企画・運営：三井ボランティアネットワーク事業団関西支部 菅田(コンダ)・荒井(アライ)
E-mail: t.konda@mv-net.com ☎TEL:06-4396-8680
兵庫国際交流拠点事業推進協議会(G-Navi)

協力：神戸市立博物館 **解説者**：神戸市立博物館 学習支援交流員

三井ボランティアネットワーク事業団では、日本でも信頼のおける企業グループ(三井)を定年退職した者が中心となり、これまでの経験を生かし、留学生の皆さまの日本での手助けになれるよう、安心できる話し相手相談相手としてボランティア活動をしています。